

ECOンビ工法

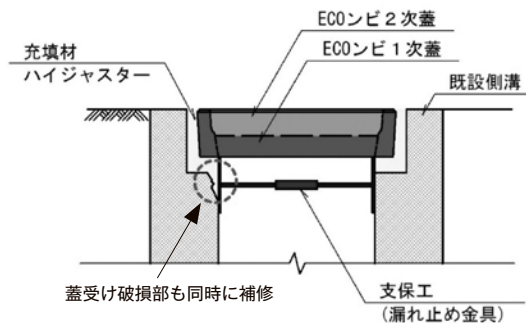
国土交通省NETIS（新技術情報提供システム）掲載期間終了

即日交通開放できる側溝修繕工法

「ECOンビ工法」とは、側溝本体を壊さず、老朽化した蓋のみをECOンビ蓋(1次蓋・2次蓋)と交換することにより修繕を行う側溝修繕工法です。

1次蓋を充填材で固定すると同時に、側溝本体の破損部も補修でき、即日開放が可能です。また、1次蓋は固定されますが、軽量化された2次蓋は着脱可能なため、施工後も維持管理が容易に行えます。

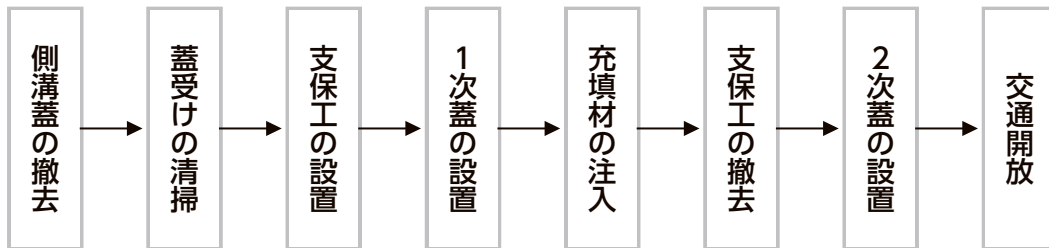
側溝の補修等に伴う廃棄物の発生を格段に抑制できる環境に優しい工法であり、建設副産物対策四国地方連絡協議会による「建設リサイクル技術活用事例集」にも掲載されている工法です。



施工事例

☆実際の色とは異なります。

☆自由勾配側溝や落ちふた式U形側溝などと同程度の強度を有しています。



特長

環境

既設の蓋受け部が破損していても、既設の側溝本体をそのまま活用できます。既設側溝を活用することで、コンクリート片等の産業廃棄物の発生が最小限(既設蓋のみ)となります。蓋受け部はリポーン型(曲面型)であり、騒音や振動の大幅な軽減となります。施工が早いので、周辺の交通障害や住民負担が最小限ですみます。

経済性 施工性

既設側溝本体に手を加えることなく(ハツリ・カット不要)工事が行えます。重機や大型機械を使わず、人力施工も可能です。従来技術と比較し大幅に工種・工程が減るため、コストダウンが可能です。

維持 管理

2次蓋は軽く、取り外しが容易なため、女性やお年寄り等の地域住民による維持管理も格段に楽になります。蓋の表面に集水用のスリットがあるので、安定した集水効果が得られ、粒状の模様がウエット時にも高いノンスリップ性能を発揮し、レジンのため磨耗にも強い構造です。凹凸がなく、スリットも細目仕様なため、車椅子等でも安心のバリアフリーです。

